

令和元年度 第2回 生徒による授業評価について

香川県立丸亀城西高等学校

1 趣旨

生徒からの授業評価を通じて、授業改善を図り、教員の授業力向上につなげるとともに、生徒の学習意欲を高める。

2 実施の時期

第2回 2学期 11月 5日（火）～11月 8日（金）

3 調査項目

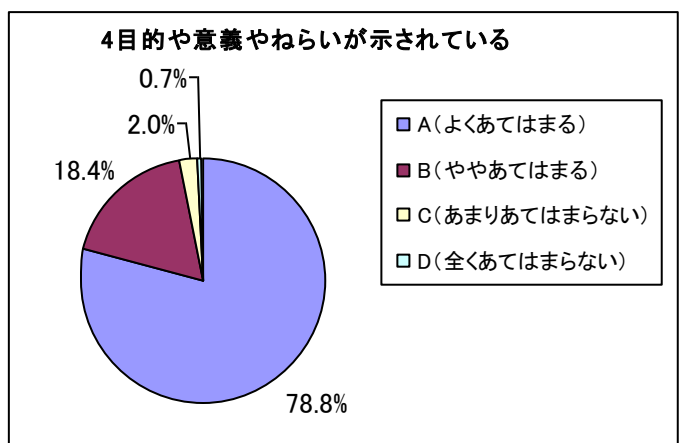
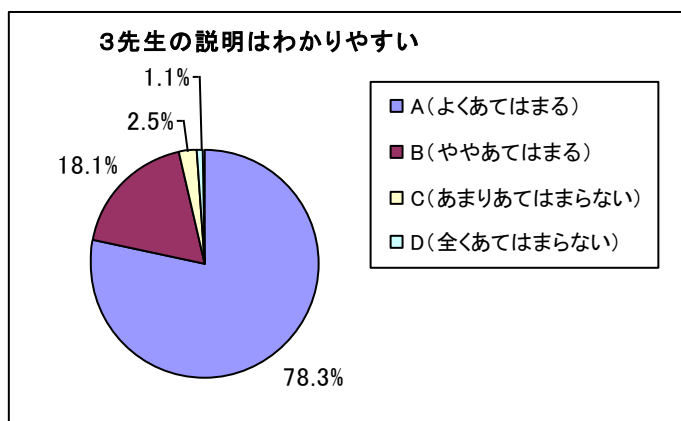
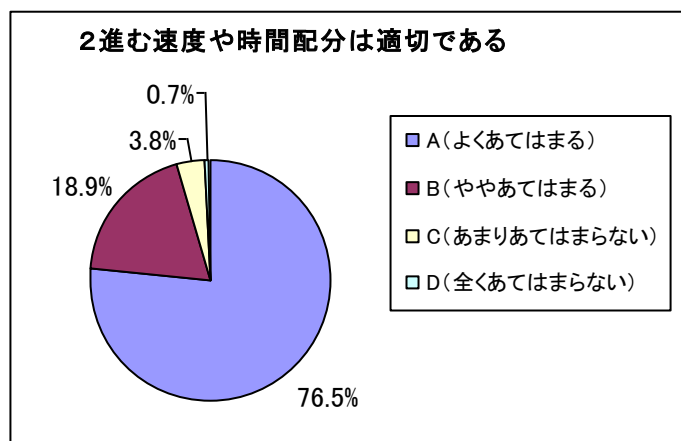
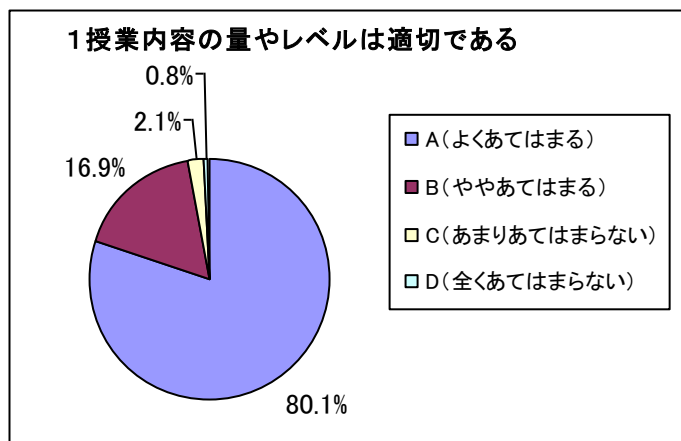
今年度2回目の評価結果は以下のとおりである。各教科共通の評価項目は以下の4点であるが、今回も各教科・科目において、それぞれの特性に応じた教科独自の項目を追加している。前回（6月）の結果をふまえ、各教科で授業改善を進めているが、さらに今回の調査結果を参考に、継続した授業改善に取り組みたい。

生徒からの授業評価

評価項目 (全教科科目に共通のもの)		全教科集計結果（上段:6月、下段:11月）			
		A よく あてはまる	B やや あてはまる	C あまりあて はまらない	D 全くあては まらない
1	授業内容の量やレベルは適切である	80.5% 80.1%	17.3% 16.9%	1.4% 2.1%	0.8% 0.8%
2	進む速度や時間配分は適切である	76.2% 76.5%	20.0% 18.9%	3.1% 3.8%	0.8% 0.7%
3	先生の説明はわかりやすい	76.7% 78.3%	19.7% 18.1%	3.0% 2.5%	0.7% 1.1%
4	学習の目的や意義やねらいが示されている	77.9% 78.8%	19.3% 18.4%	2.3% 2.0%	0.6% 0.7%

※ 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100にならない。

生徒からの授業評価（分析）



今年度6月調査と同様に、昨年度との比較ではすべての項目でAの評価が増加している。概ね高評価傾向であり、本校生の実態に応じた授業が展開されているといえる。

1の「**授業内容の量やレベル**」については、AとB合わせて「適切である」と受け止めている生徒が97.0%である。ただ、6月でよりA、Bの回答が減り、Cの回答がわずかながら増えている。

2の「**速度や時間配分**」についても、1の「**授業内容の量やレベル**」と同傾向である。AとB合わせて「適切である」と受け止めている生徒が95.4%であるが、Bの回答が減り、Cと回答した生徒が微増している。

3の「**先生の説明のわかりやすさ**」については、AとB合わせて「わかりやすい」と答えた生徒が96.4%である。B、Cの回答が減り、Aの回答とDの回答がわずかながら増えている。これは6月に比べ、生徒の理解度に差が生じていることのあらわれで、今後、個々の生徒の状況を把握したうえで個別に対応していくことも必要であろう。

4の「**学習の目的や意義やねらい**」については、どの教科においても生徒の評価は高く、「示されている」と感じている生徒が97.2%に達している。6月に比べ、Aの回答が増えている。授業の導入において目的や意義やねらいを明確にすることは、生徒の授業への集中を高めることにつながるため、今後もこの取り組みを継続したい。

担当

香川県立丸亀城西高等学校

教頭 建部 真二

TEL 0877(23)5138

FAX 0877(23)5139